

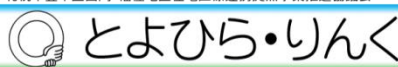
とよひら・りんく NewsLetter

発行 札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会 「とよひら・りんく」事務局



合同会議（グループワーク）の様子

札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会



平成28年度 第2回合同会議を開催

平成 28 年 7 月 25 日（月）18:30～20:00（豊平区民センター）

平成 28 年度、第 2 回合同会議を開催いたしました。

医療・介護関係者等、57 名が参加されました。

（講演）「厚生労働省 人生の最終段階における医療体制整備事業の取り組みと
アドバンス・ケア・プランニング導入の必要性について」

静明館診療所 医師

大友 宣 先生

平成 27 年度 厚生労働省「人生の最終段階における医療体制整備事業」に取り組まれた札幌市中央区の静明館診療所の 大友宣先生にご講演をしていただきました。

厚生労働省の事業を経験した上で、「アドバンス・ケア・プランニング」の導入については、チャンスを逃さないことが重要として、

①キャッチする

「もう入院したくない…」「延命処置は…」「トコトン治療を続けたい」など。

②傾聴する

「もう少し詳しく教えていただけますか」「どうしてそう思われるのですか」など。少し掘り下げて聞いてみる。

③伝える

医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャーに聞いたお話を伝えて良いかをきく。

「今のお話を、先生にお伝えしてもさしつかえないですか」など。

以上が重要であるとお話しされていました。その他、前任地の神奈川県横須賀市での「在宅医療推進よこすかエチケット集」の取り組みについてもご紹介をいただきました。

《アンケートから》（一部）

・「思い」の共有が大切である点、「結論」ではなく「プロセス」が大切である点が印象に残りました。（医療機関・医師）

・看取りについて今後に対する思いをどのように共存していけば良いかを考えることができました。（医療機関・リハビリ職）

・今後「看取り介護」を進める上で、参考になった。（介護保険施設・介護支援専門員）



講演会の様子



【用語解説】ACP「アドバンス・ケア・プランニング」

今後の治療・療養について患者・家族と医療従事者があらかじめ話し合う自発的なプロセス。

－患者が望めば、家族や友人とともに行われる。

－患者が同意のもと、話し合いの結果が記述され、定期的に見直され、ケアにかかわる人々の間で共有されることが望ましい。

－ACPの話し合いは次の内容を含む。・患者本人の気がかりや意向 ・患者の価値観や目標

・病状や予後の理解

・治療や療養に関する意向や選好、その提供体制

（参考：E-FIELD 平成 27 年度人生の最終段階における医療体制整備事業 研修会 資料）

相談プロセスの多職種での共有のための「ACP相談シート」を用いての連携実践の報告がありました。

「ACP相談シート」はホームページにも掲載いたします。カンファレンス等でご活用ください。

《アンケート》（一部）

- ・入院－外来－再入院と、実際にどのようにACPを相談していくのか、参考になりました。（医療機関・医師）
- ・参考になりましたが、実践していくにはまだまだ難しい。（医療機関・看護師）
- ・少しずつ実践していければと思いました。一般の方にも重要性を広めていかなければ…。（医療機関・看護師）
- ・有料老人ホームにも必要性を感じた。（有料老人ホーム・ホーム長）

グループワーク「アドバンス・ケア・プランニングの導入について」

多職種でグループワークを行いました。

【グループワークでの意見】（一部）

- ・本人と家族の意向のズレへの対応に苦慮することが多い。（医療機関・医師）
- ・限られた時間で多くの情報を確認、共有することに限界がある。（医療機関・医師）
- ・医療的なこと以外にも、生活のことが知りたい。例えば、〇〇をしたいなど。（訪問看護師）
- ・施設の機能上、生活歴や今後のご希望など、確認していくことを今後さらに行う必要がある。（老健・支援相談員）



グループワークの様子

《アンケート》（一部）

- ・ACPを行うタイミングが難しいと思いました。（医療機関・医師）
- ・それぞれの立場からACP導入の難しさを聞いて、勉強になりました。（医療機関・医師）
- ・職種、病院形態の違うメンバーのグループワークは勉強になりました。（医療機関・看護師）
- ・それぞれの職種により視点が異なるため。共有方法は課題だと思いました。（調剤薬局・薬剤師）

第3回合同会議のご案内

10月7日（金）19：00～20：30 豊平区民センター 大ホール

テーマ：「医療現場におけるアドバンス・ケア・プランニングの実践と課題を考える」

ACP研究会、等のご協力を得て、第3回合同会議は、セミナー形式で開催することになりました。

厚生労働省の平成26.27年度「人生の最終段階における医療体制整備事業」の採択機関である下記の3医療機関より報告とKKR札幌医療センターの看護師からの報告をいただき、シンポジウムを行います。

《演者》 座長 磯部 宏 氏（KKR札幌医療センター 病院長）

- ・国立循環器病研究センター 看護師 高田 弥寿子 氏：平成26年度厚労省事業、採択機関
- ・静明館診療所 医師 大友 宣 氏：平成27年度厚労省事業、採択機関
- ・西岡病院 内科医長 澤田 格 氏：平成26年度厚労省事業、採択機関
- ・KKR札幌医療センター 看護師 田島 瑤子 氏
- ・札幌総合法律事務所 弁護士 福田 直之 氏

参加希望の方は事務局へご連絡をお願いします。

今後の活動予定

第3回合同会議：平成28年10月7日（金）19：00～20：30 （豊平区民センター大ホール）

第4回合同会議：平成29年3月27日（月）18：30～20：00 （豊平区民センター大ホール《予定》）

とよひら・りんく事務局 西岡病院 地域連携室 岡村・田附・横田 ホームページ：<http://www.toyohiralink.jp/>

電話 011-853-8322（平日9-17時） メールアドレス：info@toyohiralink.jp